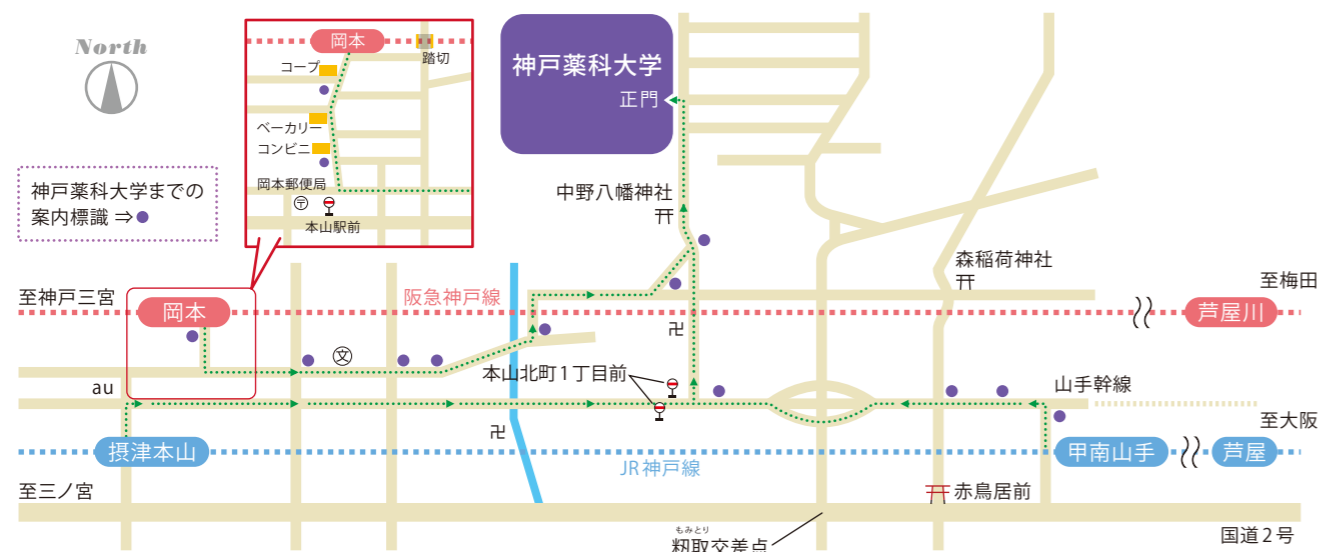
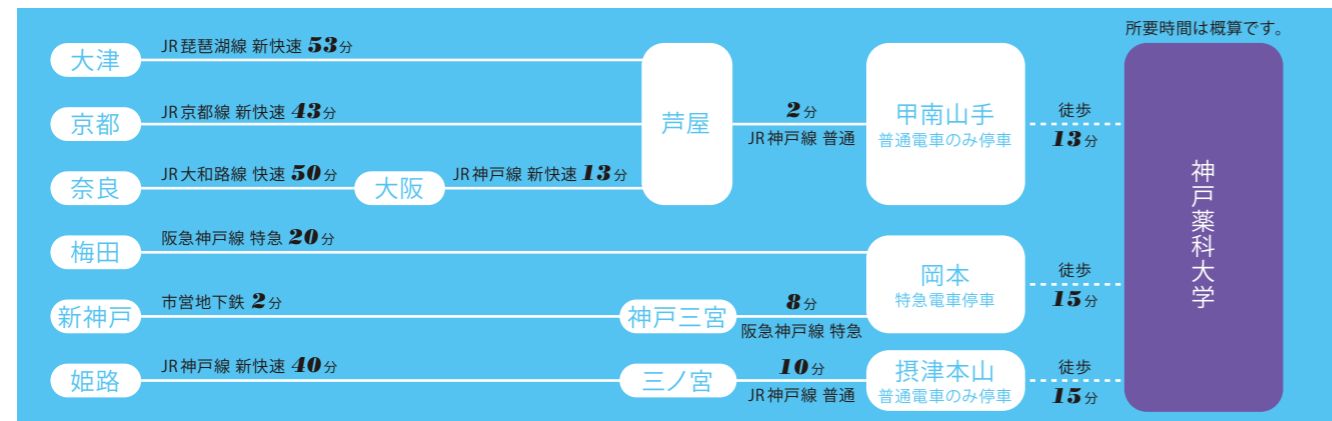


沿革

1930(昭和 5)年	神戸女子薬学校設立認可、武庫郡魚崎町の旧魚崎小学校を仮校舎に開校	1996(平成 8)年	5号館竣工、医療薬学総合研修センター開設
1932(昭和 7)年	専門学校令による「神戸女子薬学専門学校」の設立認可(認可 昭和7年3月29日法人認可 昭和7年4月27日)	1999(平成11)年	西宮グラウンド開設
1935(昭和10)年	本校舎(本館・実験室一棟、寄宿舎北寮)竣工、現在地に移転	2000(平成12)年	10号館(神戸薬科大学ライフサイエンスセンター)竣工
1936(昭和11)年	専門学校第1回生卒業	2001(平成13)年	大学院医療薬科学専攻修士課程開設認可
1949(昭和24)年	神戸女子薬科大学の設置認可(認可 昭和24年2月21日)、大学第1回生入学	2002(平成14)年	大学院医療薬科学専攻修士課程開設
1951(昭和26)年	専門学校最終学生(第17回生)卒業	2005(平成17)年	収容定員増(6年制)認可
1953(昭和28)年	大学第1回生卒業、榎並記念研究所竣工	2006(平成18)年	学部6年制教育開始、薬学基礎教育センター開設
1958(昭和33)年	2号館竣工	2007(平成19)年	薬剤師認定制度認証機構より「生涯研修プロバイダー」の認証 エクステンションセンター開設、薬学臨床教育センター開設
1961(昭和36)年	3号館竣工	2008(平成20)年	11号館竣工、学生支援センター開設
1965(昭和40)年	衛生薬学科増設認可	2009(平成21)年	大学院薬学研究科薬科学専攻(修士課程)開設許可 (財)大学基準協会による大学評価(機関別認証評価)認定
1967(昭和42)年	大学院修士課程の開設認可、1号館改築完成竣工	2010(平成22)年	大学院薬学研究科薬科学専攻(修士課程)開設
1968(昭和43)年	6号館(体育館)竣工	2011(平成23)年	大学院薬学研究科薬学専攻(博士課程)設置届出受理
1973(昭和48)年	7号館(学生会館)竣工	2012(平成24)年	6年制初の卒業、大学院薬学研究科薬学専攻(博士課程)開設
1974(昭和49)年	8号館(食堂、談話室)竣工	2013(平成25)年	80周年記念館(6号館)竣工
1975(昭和50)年	実験室排水処理施設竣工	2016(平成28)年	(公財)大学基準協会による大学評価(機関別認証評価)認定
1977(昭和52)年	4号館竣工	2017(平成29)年	8号館(研究棟)竣工 (一社)薬学教育評価機構による薬学教育評価(専門分野別評価)認定 地域連携サテライトセンター竣工 薬剤師認定制度認証機構より健康食品領域研修認定薬剤師制度(P05)の認証
1979(昭和54)年	大学院博士後期課程増設認可		
1994(平成 6)年	神戸薬科大学に名称変更(男女共学)		

2018 大学要覧



〒658-8558 神戸市東灘区本山北町4-19-1 TEL.078-453-0031(代)

<http://www.kobepharma-u.ac.jp>

神戸薬科大学



神戸薬科大学
Kobe Pharmaceutical University

医療人として相応しい使命感と倫理観を有し、十分なコミュニケーション力をもつとともに高度な薬学の知識を身につけた薬のプロフェッショナルを養成します

大学の理念

社会に大きく開かれた大学であることを意識し、創立以来の伝統である教育と研究の両立を基盤としながら、医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、高度な薬学の知識を身につけた薬剤師、並びに教育・研究者を養成すること、さらに地域の医療と環境問題に目を向けて健康の維持・増進にも貢献できる拠点となること。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

所定の単位を修得し、薬剤師に必要な以下に掲げる知識、技能、態度を備えた学生の卒業を認め、「学士(薬学)」の学位を授与する。

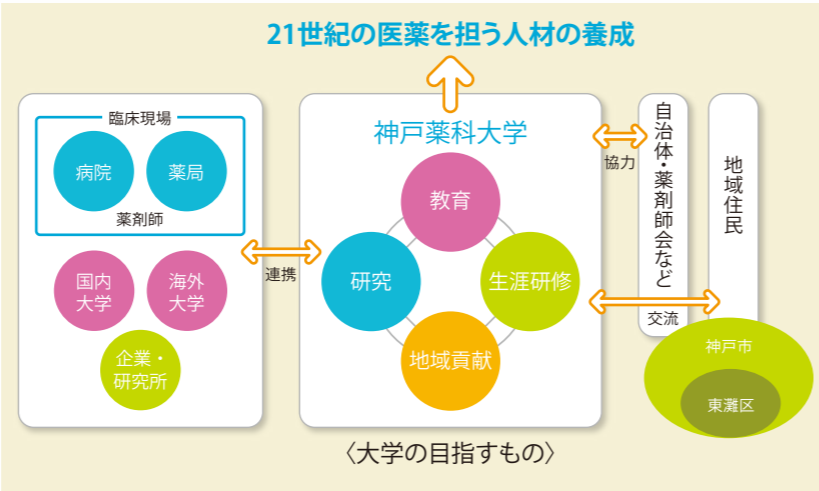
1. 医療を担う薬の専門家として相応しい薬学に関する十分な知識、技能を有すること。
2. 薬学・医療の進歩と改善に貢献できる科学的思考力、課題発見能力、問題解決能力を有すること。
3. 医療人として相応しい倫理観と使命感を有し、患者や生活者の立場に立って行動できること。
4. 医療人に必要なコミュニケーション力を有すること。
5. 医療人としての活動に必要な英語力を有し、グローバル化に対応した国際感覚を有すること。
6. 地域の医療、環境衛生に貢献できる幅広い知識と見識を有すること。
7. 生涯にわたって自己研鑽をし続ける能力と意欲を有すること。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)に基づいて、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した科目と本学独自の科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講する。

本学の教育課程では、その授業科目を基礎教育科目、教養教育科目及び専門教育科目に分ける。各授業科目は、必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成する。全ての授業科目にGIO(一般目標)と複数のSBOs(到達目標)を定める。これらのSBOsを達成することによりGIOに到達し、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を実現する。

- 幅広い視野を身につけるための教養教育科目、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した薬学基礎系科目及び医療系科目を系統的に編成し、実施する。
- 医療人としての倫理観と使命感を育成し、患者・生活者本位の視点を身につけるための科目を編成し、実施する。
- 国際化に対応できる人材の養成を図るため、6年間を通じて英語を学べる環境を構築するとともに、医療、薬学に係る英語科目を編成し、実施する。
- 地域の保健や医療に貢献できる知識と実践的能力を養成し、近隣大学や地域の医療機関との連携に基づくチーム医療教育を充実し、実施する。
- 研究マインドを涵養し、生涯にわたって自己研鑽を続け、後進を育成する意欲と態度を有する人材の養成を図るため、薬学臨床科目、薬学研究科目を編成し、実施する。
- 生涯学習に対する意欲を醸成するために、薬剤師生涯研修事業を取り入れるなど、特色ある薬学教育アドバンス科目を編成し、実施する。
- 本学独自科目をシラバスに明記し、履修モデルをもとに目指すキャリアを明確にする。
- 高等学校から大学への円滑な接続ができるよう、初年次教育を充実させ、習熟度に配慮したクラス編成を取り入れた科目を編成し、実施する。
- 科学的思考力、課題発見能力、問題解決能力及びコミュニケーションスキルの育成を図るため、PBLやSGDなどのアクティブ・ラーニングを取り入れた少人数教育科目や統合教育科目を編成し、実施する。
- ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)に掲げる薬剤師に必要な知識、技能、態度を評価する。
 - ①「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した科目と本学独自の科目の評価
 - ② 実務実習の評価
 - ③ 卒業研究の評価



アドミッション・ポリシー（入学生像）

本学では、その理念、教育目標、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)及びカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)のもと、医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、社会に貢献する為に高度な薬学の知識と技能を修得できる資質と協働性をもった、次のような人を求めています。

求める人物像

1. 自然科学を深く学ぶ意欲と能力を有している人物
2. 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得している人物
3. 本学での学習を通してこれからの社会で通用する実力及び医療人に必要なコミュニケーション力を身につけ、将来、薬学、医療、及び関連する分野で活躍したいという強い意志と意欲を持つ人物

求める人物像における具体的な項目について記載し、このような入学者を適正に選抜するため多様な選抜方法を実施します。

- **関心・意欲・態度・探究心**
自然科学(特に薬学及び関連分野)に強い関心と学ぶ意欲を持ち、生命・健康・医療に関する諸問題に対して探究心を身に付け、活躍、貢献したいという意志を持つ人物
- **知識・教養**
薬学の専門分野を学ぶために、入学後の学修に必要な理科、数学に加え、英語等の基礎学力を有している人物
- **思考力・判断力**
これまでの知識をもとに、思考を深めながら適切に判断できる人物
- **表現力・コミュニケーション力**
自分が伝えたいことを相手に表現できるだけでなく、相手の表現を正しく理解し、コミュニケーションできる人物
- **協働性**
問題解決のために、いろいろな分野の人と協力して活動できる人物

*高等学校で学ぶべき具体的な内容

(試験科目より)
理科…「化学基礎・化学」「生物」「物理」の基礎的な知識と科学的に探究する姿勢
数学…「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」の基礎的な知識と論理的思考力
英語…「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」の基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション力・論理的思考力

(試験科目以外)
国語…様々な文章の読解力と自分の伝えたいことを表現できる基礎的な文章力
公民…倫理における基礎的な内容の理解
特別活動及び課外活動等を通した自主性、協調的な態度や思いやりと奉仕の心

医療産業都市神戸の立地を活かし、ますます社会に貢献します

神戸薬科大学は昭和5(1930)年に神戸以西では唯一の女子薬学教育機関として創設され現在まで17,691名の人材(卒業生)を輩出した86年の歴史を有する大学です。臨床教育重視を目的とした薬学教育6年制が定着した今、医療の現場で活躍できる人材をこれからも輩出し、社会に貢献できる大学であり続けることが求められています。国際性豊かな医療産業都市神戸の立地を活かした本学ならではの教育を更に推進し、それを実現するための学内の環境設備を充実させていきます。

また、本学の特長である「生涯研修」を更に充実させ、薬剤師の卒後のスキルアップに深くかかわり、広く門戸を開き「地域との連携」に取り組むことで、ますます社会に貢献できる存在であり続けます。

理事長 宮武 健次郎

さまざまな連携を生かし、薬学に関係する幅広い領域で貢献できる薬のプロフェッショナルを養成します

神戸薬科大学は、創立以来、社会に貢献できる人材の育成を目的とし、数多くの優れた薬剤師、研究者、専門職能人を社会に送り出してきました。近年、医療の高度化、チーム医療をはじめとする多職種連携協働の進展の中で、薬剤師を取り巻く環境は大きく変化し、医療現場で求められる高度な専門性や医薬品の適正使用に果たす役割と責任は増大しています。厚生労働省において「患者のための薬局ビジョン」が策定され、薬剤師に健康サポート機能や高度薬学管理機能が求められ、大学にもその基盤形成支援の役割が期待されているところです。このような社会的要請を背景として、昨年9月に開設しました地域連携サテライトセンターを研究・教育に活用しながら、本学の特長である生涯研修の強化とともに、英語教育、海外薬学研修などの国際教育の推進や国内外の大学・医療関連機関との連携など関連するさまざまな領域で教育環境の向上を進めていきます。

一方、社会のニーズにこたえるべく、研究についても一層のレベルアップに取り組んでいます。本学は、「創学の精神」「大学の理念」を基盤として、高度な薬学の知識と技能の修得とともに、医療人としての人間性教育の充実や問題発見・解決能力の養成に努めています。近隣の大学、企業、臨床現場、自治体及び地域との連携を生かしながら、研究によって科学的根拠に裏付けされた健康サポート活動を大学のブランドとし、医薬品にかかわる幅広い領域で貢献できる薬のプロフェッショナルの養成を目指しています。

学長 北河 修治

大学基本データ

大学設置

1949年

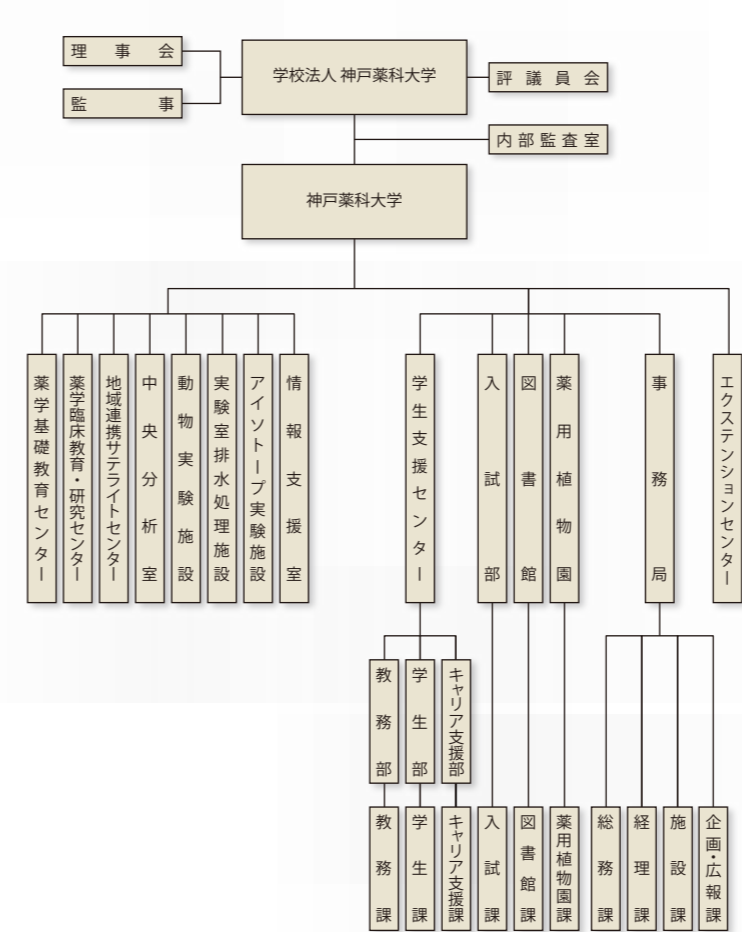
設置者

学校法人神戸薬科大学

本部所在地

兵庫県神戸市東灘区本山北町4-19-1

組織図



基本データ

学 生	学生数現員()は入学定員()は男子学生数	大学院		
年次別		学 部(270)	修士課程(5)	博士課程(3)
1		285 (79)	1 (1)	4 (3)
2		319 (100)	2	2 (1)
3		279 (77)		2 (1)
4		254 (82)		2 (2)
5		295 (84)		
6		285 (86)		
計		1,717 (508)	3 (1)	10 (7)

学部卒業生数

専門学校	学 部	合 計
1,740	15,951	17,691

学位授与状況

2018年4月1日現在

専攻	修士号取得(薬学)	修士号取得(薬科学)	博士号取得(課程博士)	博士号取得(論文博士)
1,740	638	15	42	43

職 員

2018年5月1日現在

教 育 職 員 (職名)					
教授	准教授	講師	助教	助手	非常勤講師
39 ^{※1}	16	20	13 ^{※2}	3	58

職種	事務局	学生支援センター			入試部	図書館	薬用植物園	エクステンションセンター	情報支援室	薬学臨床教育研究センター	内部監査室	計	
		教務部	学生部	キャリア支援部									
事務系	8 ^{※3}	5	4	4	6	4	3	3	1	1	2	1	42
技術系		1				1							3
兼務													(3) ^{※4}
その他													(3)
計	8	6	4	4	6	5	3	3	1	1	2	1	45 ^{※5}

※1:学長、副学長は教授に含む ※2:特任助教は助教に含む ※3:事務局長は総務課に含む ※4:うち1名は教員 ※5:()内の人数は兼務者

教育

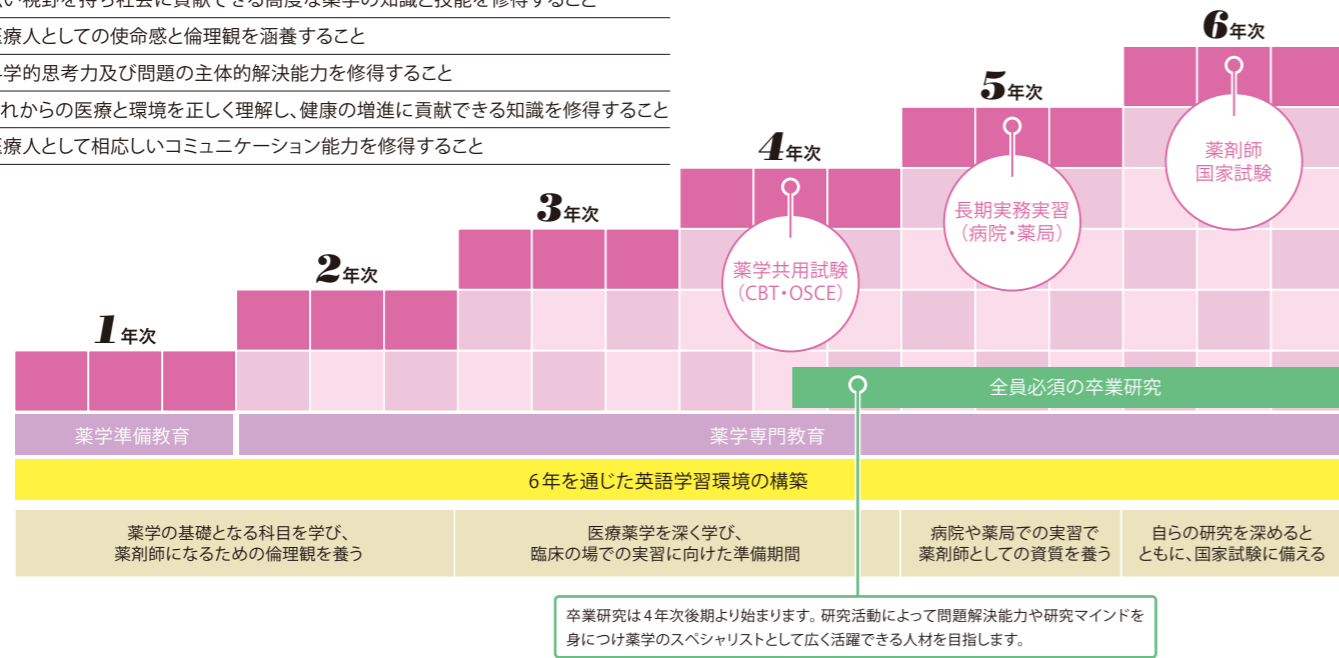
医療の現場を意識した医療薬学教育を実践

神戸薬科大学のカリキュラムは、専門教育科目における高度な知識・技能の修得はもちろんのこと、実務実習事前教育と5か月間に及ぶ病院・薬局実習がその中心的役割を担っています。それにとどまらず国際化がますます進むなか、薬剤師に求められる実践的な英語力の修得を重視した教育、少人数グループによる演習科目の充実、更には研究室での卒業研究を通じて科学的探究心と思考力を育成し、問題発見・解決型の薬剤師の養成を目指します。

学部 《6年一貫の教育カリキュラム》

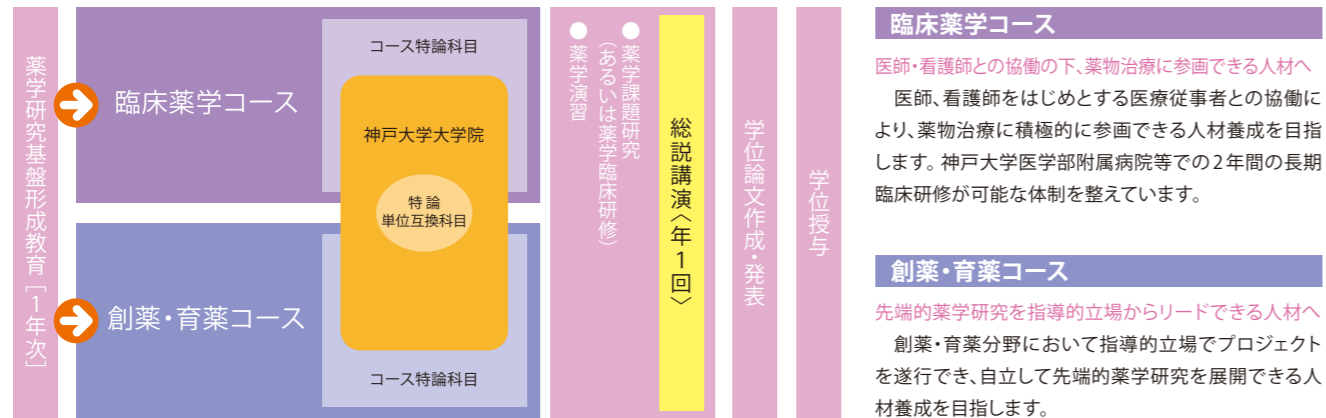
教育目標

- 広い視野を持ち社会に貢献できる高度な薬学の知識と技能を修得すること
- 医療人としての使命感と倫理観を涵養すること
- 科学的思考力及び問題の主体的解決能力を修得すること
- これからの医療と環境を正しく理解し、健康の増進に貢献できる知識を修得すること
- 医療人として相応しいコミュニケーション能力を修得すること



大学院 学部で積み上げた知識や研究成果を更に深化させる高等教育の場として、大学院薬学研究科を設置しています。チーム医療の現場において薬剤師として、又は創薬研究・医薬品開発を担う質の高い研究者として活躍できる人材の養成を目指しています。

大学院 博士課程(4年制)カリキュラムイメージ



国際交流の活性化・多角的な活動

国際社会における保健衛生の保持・向上の重要性を視野に入れ、さまざまな方面での協力連携を推進しています。交流協定に基づいた共同研究や、外国人ポスト・ドクターの登用など、積極的な国際交流を図っています。

海外薬学研修プログラム

先進医療の中心地であるボストンの病院やコミュニティーファーマシーなどの医療施設や医薬品開発の研究機関を訪問するほか、提携大学であるマサチューセッツ薬科健康科学大学 (MCPHS) で臨床系教員より実務実習の講義を受けたり、現地の学生と意見交換を行ったりするなど、海外の薬学教育を知る機会を設けています。



臨床系教員との懇談

研究

共同研究やプロジェクト参画により研究成果を社会に還元する

大学の永続的發展のためには、学生へのよりよい教育の提供と教員の研究活動の活性化が必要不可欠です。研究室間、又は他の研究機関との共同研究やプロジェクトへの参画など研究協力を推進することにより、その成果を広く社会に還元し、本学の研究及び教育の発展に寄与していきます。

研究室/支援・教育センター

- 薬学系研究室
 - 生命分析化学研究室 / 医薬細胞生物学研究室 / 生化学研究室 / 薬化学研究室 / 薬品化学研究室 / 生命有機化学研究室 / 衛生化学研究室
 - 微生物化学研究室 / 薬理学研究室 / 医療薬学研究室 / 製剤学研究室 / 薬品物理化学研究室 / 機能性分子化学研究室 / 薬剤学研究室
 - 臨床薬学研究室 / 病態生化学研究室
- 支援・教育センター
 - 放射線管理室 / 中央分析室 / 薬学基礎教育センター / 薬学臨床教育・研究センター / 地域連携サテライトセンター / 薬用植物園
- 教養・社会薬学系研究室
 - 社会科学研究室 / 英語第一研究室 / 英語第二研究室 / 数学研究室 / 医療統計学研究室 / 臨床心理学研究室 / 医薬品情報学研究室

教育研究・施設等

情報支援室 / 動物実験施設 / アイソトープ実験施設 / 実験室排水処理施設 / 図書館 / エクステンションセンター

研究費獲得状況

科学研究費補助金の応募及び採択状況(新規課題+継続結果) (単位:千円)

		2015年度	2016年度	2017年度	合計
新学術領域研究	応募件数	1件	2件	2件	5件
	採択件数	1件	0件	1件	2件
	補助金額	18,500	0	2,900	21,400
基盤研究(B)	応募件数	4件	4件	5件	13件
	採択件数	1件	4件	4件	9件
	補助金額	4,200	17,900	15,100	37,200
基盤研究(C)	応募件数	40件	39件	42件	121件
	採択件数	21件	24件	22件	67件
	補助金額	24,167	27,164	25,780	77,111
挑戦的萌芽研究	応募件数	10件	13件	7件	30件
	採択件数	4件	3件	1件	8件
	補助金額	5,800	2,200	1,400	9,400
若手研究(A)	応募件数	1件	2件	1件	4件
	採択件数	1件	2件	1件	4件
	補助金額	4,800	561	5,000	10,361
若手研究(B)	応募件数	11件	10件	8件	29件
	採択件数	8件	5件	4件	17件
	補助金額	10,879	4,035	6,500	21,414
研究活動スタート支援	応募件数	0件	1件	5件	6件
	採択件数	0件	0件	1件	1件
	補助金額	0	0	1,100	1,100
特別研究員奨励費	応募件数	1件	1件	0件	2件
	採択件数	1件	1件	0件	2件
	補助金額	900	800	0	1,700
合計	応募件数	68件	72件	70件	210件
	採択件数	37件	39件	34件	110件
	補助金額	69,246	52,660	57,780	179,686

その他の研究費受領件数・金額 (単位:千円)

		2015年度	2016年度	2017年度	合計
受託研究費	件数	4件	4件	7件	15件
	金額	3,072	10,067	18,790	31,929
奨学金等	件数	13件	15件	19件	47件
	金額	19,041	14,081	12,670	45,792
非営利団体等からの助成金	件数	3件	9件	12件	24件
	金額	7,918	19,900	28,900	56,718

論文発表状況

	2015年度	2016年度	2017年度	合計
研究論文	101	60	86	247
著書	16	11	11	38
総説	14	14	9	37
学会発表	222	238	241	701

神戸薬科大学地域連携サテライトセンター

大学の教育 研究 社会貢献 につなぐ 地域連携 の活動・事業拠点

他大学や企業・自治体と連携を図り、薬剤師や地域に向けて本学が有する知識を発信・活用できる場として機能させていくことを目指します。

テーマ

科学的根拠に裏付けされた健康サポート活動

目的

地域の皆さん・患者さんとの交流による学生教育
高齢者の健康寿命をのばす

地域の皆さん向け:主な取り組み

- 健康サポートセミナー(東灘区役所連携事業)
- くすりと健康セミナー(東灘区薬剤師会連携事業)
- 地域健康サポート・カフェ など

薬剤師向け:主な取り組み

- 薬科大学と臨床現場を繋ぐセミナー など

研究事業・連携

神戸大学との大学間連携

本学は、いち早く先進的な教育を行って来ました。そのひとつが神戸大学と連携協定を結んだ「医薬共同」の教育です。早期の学習から専門性の向上にいたるまで、一貫した医薬共同の教育を展開。広範な薬学のフィールドで活躍できる医療人の育成を目指しています。

学部

チーム医療教育を推進

- 初期体験臨床実習 [1年次]
- 「PW(多職種間協働)演習」 [5年次]
- 卒業研究 [4~6年次]
- 神戸大学臨床研究コース
- Student CASP ワークショップ

大学院

単位互換制度の導入
学生の相互受入れ
専門薬剤師養成コースを設置

病院

薬剤師レジデント・薬大教員の医療従事

研究

共同研究の推進

文部科学省 多様な新ニーズに対応する がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン

7大学が相互に連携・補完して教育を活性化し、がん専門医療人材養成のための教育拠点構築を目的とし、わが国及び地域のがん医療の向上を推進します。

参加大学

大阪大学 / 兵庫県立大学 / 和歌山県立医科大学 / 奈良県立医科大学 / 京都府立医科大学 / 大阪薬科大学 / 神戸薬科大学

寄付金受入状況 神戸薬科大学教育研究資金

(単位:千円)

	2017年度
件数	31件
金額	7,850

